

上小阿仁中3年生 **十割そば平らげ 全員合格を祈願**



上小阿仁村沖田面の高橋旅館（高橋健生店主）が、高校入試を控えた上小阿仁中学校の3年生8人を同店に招き、合格率「十割」にちなんで名物の十割そばを振る舞った。

8人は「合格」「必勝」などと書かれた鉢巻き姿で入店。高橋店主の孫で上小阿仁小5年の武石一颯さんが「合格祈願」の文字と各生徒の名前を入れた友倉神社の絵馬を一人一人に手渡した。

各自がざるそばやかかけそば、天ぷら、にぎりずしなどのセットを注文。テーブルに運ばれると全員で「いただきます」と手を合わせ、そばを味わって受験に向けた英気を養った。＝写真。小林麗華さんは「びっくりするくらいおいしかった。もっと受験勉強を頑張ろうと思った」と話した。

高橋旅館は2014年から、地元の受験生を対象に十割そばを振る舞っている。今年は1月31日に行い、従業員の高橋歩さん(55)は「感染症がはやっているので、体調に気を付けて、本番で全力を出し切ってほしい」とエールを送った。

(小松田直嗣) **令和7年2月13日(木)秋田魁新聞より一部抜粋)**